

地域医療連携室だより

# For you

ほうゆう

平成 30 年 4 月発行 (第 23 号)

平成 30 年度 春号

## 1. 新年度のご挨拶

横浜ほうゆう病院院長の日野です。

院長 日野 博昭

さて、3月25日付の朝日新聞に「徘徊」の記事が掲載されたことを覚えている方も多いかと思います。記事中、「徘徊」は「目的もなく、うろうろと歩きまわること」(大辞林)、「どことなく歩きまわること」(広辞苑)と表されています。「日本認知症本人ワーキンググループ」は『「徘徊」という言葉で行動を表現する限り、認知症の人は困った人たちという深層心理から抜け出せず、本人の視点や尊厳を大切にできる社会にたどり着けない』と国や自治体に使用しないことを要望しており、自治体では「徘徊」を使わない動きが広がっています。



一方で、2016年に全国の警察に届け出があった「徘徊」による認知症の行方不明者は、前年比26.4%増の1万5432人です。2012年の統計開始から4年連続で増加し、過去最多を更新し続けています。警察の捜索や通報で発見されたケースが63.7%、自力帰宅や家族による発見が32.3%ですが、3.1%に当たる471人は死亡した状態で見つかっています。徘徊中の鉄道事故や自動車運転による徘徊事故などニュースバリューのある事件もあります。家族の心配は当然ですが、すでに「徘徊」は超高齢社会において重大な問題です。当院でも、先日入院予定の患者さんが前日から一人で家を出て行方がわからなくなり、翌日発見された時にはすでにお亡くなりになっていました。認知症の人の尊厳は勿論大事ですが、命はもっと大事です。名称はともかく「徘徊」でお困りの方は是非一度当院でのご相談をご検討下さい。

### 2025年問題をご存知ですか

国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、人類が経験したことのない『超・超高齢社会』を迎えるのです。その頃の社会はどうなっているのか。現時点でも800万人を超える認知症患者は、その頃には1200万人、国民の10人の1人が認知症を患う、という試算もあります。当院は認知症を専門とする医療施設ですので、今後当院が果たす役割の重要性は増していくと考えています。同時にその役割を担う人材も必要であることは言うまでもありません。人材は場合により人財とも書きます。企業にとって人は財産です。「だからもの」と私は考えています。来るべく超・超高齢社会を当院とともに支えていく人材・人財を大切にしていきたいと思います。

事務部長 前沢 恒一

横浜ほうゆう病院の坂道の途中に大きな桜の木があるのですが、春の訪れが早くすっかり葉桜になっています。看護部長の原科です。看護部長になって3回目の春を迎えました。

この2年間は、まずは地域の方々と「顔の見える関係づくり」を目標に地域での講習会の開催や介護施設の職員向け研修会などを積極的に行ってきました。また、昨年9月からは「認知症初期集中支援チーム」として泉区で活動をさせていただいております。活動を始めてから認知症の方々、ご家族、支援なさっている方とかかわりを通じて、改めて横浜ほうゆう病院の役割を実感しています。今後も「顔の見える関係づくり」を合言葉に地域の方々との連携を充実させていきたいと思っております。

看護部長 原科 美津枝

## 2. 入院について（よくある質問）

入院について寄せられる質問をまとめました。

詳しくは地域医療連携室（TEL045-360-8787）までお問い合わせ下さい。

### Q 入院の対象について教えてください。

- A
- ・ 認知症の行動・心理症状（徘徊、介護への抵抗、暴言など）でお困りの方
  - ・ 上記の症状からご自宅や施設での生活にお困りの方
  - ・ ご家族の介護疲れ軽減の為の短期（2週間～1ヶ月程度）の入院希望の方 等です。

### Q 専門医の先生はいますか？

- A はい。

現在、精神科常勤医師は4名（日本認知症学会認定専門医、日本老年精神医学会認定専門医）その他、専門医等様々な資格を持った非常勤精神科医師が8名勤務しています。

### Q 入院治療はどのように行っていますか？

- A 病棟には看護師・作業療法士・精神保健福祉士・介護福祉士・ケアワーカーが配置されています。医師の診断・治療方針に基づき、薬の調整、看護・ケアを通じて関わり方の工夫を見つけ出し、患者さん、ご家族が再び穏やかに安心した生活が送れるよう支援しています。

### Q リハビリについて教えてください。

- A 各病棟に作業療法士が1名配置されており、患者さんの状態に合わせて個別や集団での作業療法を行っています。作業療法では患者さんの生活のしづらさの改善を図ります。身体機能訓練の他、製作・レクリエーション活動を通して患者さんの生活リズムや環境を整え、心身の残存機能の維持・改善も図っています。

### Q 面会時間は決まっていますか？

- A 当院では面会は原則24時間可能です。

防犯上21時～翌朝8時にお越しになる場合は必ず事前にご連絡下さい。

### Q 入院中に他の医療機関を受診することはできますか？

- A 身体疾患が安定している方を入院の対象としております。その為、当院で治療が困難な疾病（骨折、急性疾患、緊急の手術や専門的な治療が必要な場合等）にかかれた場合は受診や転院をしていただくこととなります。眼科や歯科等の受診をご希望の場合はご相談下さい。

### Q 入院期間は決まっていますか？

- A はい。

入院時に医師と本人・ご家族と入院期間を設定します。患者さん1人1人には退院後生活環境相談員（病棟の精神保健福祉士）が選任され、在宅や施設等への退院に向けて関係機関と協力し、調整を図ります。

**Q 退院先にはどのようなところがありますか？**

A ご自宅への退院が難しい方は、介護保険施設として【認知症対応型グループホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等】ご案内させていただきます。また、医療処置が必要な方は療養型病院等への転院をご相談させていただきます。

**Q 季節の行事やイベントはありますか？**

A 作業療法士が中心となり、病棟職員全員で取り組んでいます。

4月	お花見の会	10月	ほうゆう祭り
5月	母の日会	11月	運動会
6月	父の日会	12月	クリスマス会
7月	七夕会	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひなまつり

\*その他 音楽療法士による音楽クラブや回想療法、園芸療法等実施しています。

**Q 入院費用はどのくらいかかりますか？**

A 医療費、食事代、日用品レンタル、オムツ、その他雑費等含めて、

⇒医療費1割負担の方…18～19万円程度/月

医療費3割負担の方…25～26万円程度/月

※お持ちの限度額認定証等やオムツ、リースの使用状況により個人差がございます。

**Q 生活保護受給中の方は入院が可能ですか？**

A 可能です。相談時に生活保護受給中である旨をお伝え下さい。

**Q お部屋代はどのくらいかかりますか？**

A 保険外自己負担となります。

個室	10,800円(1日)	3床室	5,400円(1日)
2床室	7,560円(1日)	4床室	差額室料なし

**Q 面会、外来患者用の駐車場は無料ですか？**

A 25台全て無料です。

**Q 関連施設を教えてください。**

A 救急指定の湘南泉病院、療養型の新中川病院、介護老人保健施設阿久和鳳荘、本郷クリニック(内科)、ほうゆう介護支援事業所、ほうゆう訪問看護ステーション、ほうゆう保育園があり、いずれも旭・瀬谷・泉区内にございます。

**Q 入院までの流れを教えてください。**

A ①地域医療連携室(TEL045-360-8787)までご連絡下さい。

②認知症の症状、合併症、基本情報等お伺いします。

③診療情報提供書をご用意下さい。

④医師と相談し、日にちをご連絡いたします。



### 3. 平成30年度 家族講座のお知らせ

今年度も家族講座・家族のつどいを開催致します。  
どなたでもご参加いただけます。ご予約なしでも構いません。  
皆様のご参加をお待ちしております。

6月16日(土)「認知症ケースに使われる薬の話」	新井 深医師
7月21日(土)「食事の工夫と脱水予防」	当院管理栄養士・作業療法士
8月18日(土)「認知症ケア・看護」	当院看護師
9月15日(土)「介護保険施設 見学ツアー」	
10月20日(土)「日常生活の支援～排泄の介助～」	(株)光洋 担当者
11月17日(土)「認知症の方の財産管理について」	未定
12月15日(土)「口から食べられなくなった時に 考えること」	当院看護師

※テーマ、並びに講師については一部調整中の為、変更となる場合がございます。

受付時間：13時より 開催時間：13時半～15時 開催場所：外来ホール

講義時間は45分間です。その後は家族の集いを会議室にて行ないます。

参加費用：資料・お茶代として100円いただきますのでご了承下さい。

### 4. 認知症ケア研修・家族講座・看護の日の合同イベントを行いました。

H30年5月12日(土) 病院内にて、認知症ケア研修・家族講座・看護の日の合同イベントを行いました。  
午前中は、日野院長より「認知症の基礎知識」について講演と、看護師による「認知症の人との接し方 BPSD」の講演を行いました。午後の看護の日のイベントでは、血圧・体重などの健康測定や体力測定、認知症相談、オムツや食事相談、ロコモ体操などのコーナーをご用意いたしました。  
沢山のご来場、誠にありがとうございました！！

平成29年4月より横浜市認知症高齢者緊急対応事業を受託しました。

お問い合わせ、ご相談は各区の高齢・障害支援課にお願いいたします。

\*次号(夏号)は7月頃の発行を予定しています。  
本日よりのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



特定医療法人社団鵬友会  
横浜ほうゆう病院

—認知症疾患専門病院—

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷 644-1

TEL: 045-360-8787(代)

FAX: 045-360-8788

ホームページ: <http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>

地域医療連携室 担当: 今野 高橋

# 横浜ほうゆう病院 ～病棟風景～

病棟出入口



エレベーターホール



ナースステーション



デイルーム



有料室【個室・2床室・3床室】  
 穏やかに治療・療養に専念ができますよう木目を基調としたお部屋となっています。

個室



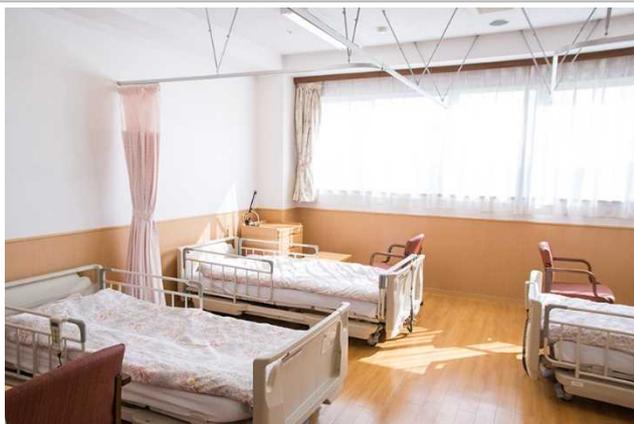
【床数】 8床  
 【料金】 10,800円（1日）

2床室



【床数】 2床  
 【料金】 7,560円（1日）

3床室



【床数】 3床  
 【料金】 5,400円（1日）

4床室



【床数】 200床  
 【料金】 差額室料なし

# 横浜ほうゆう病院 ～風景～

外観



正面玄関



1階受付



外来待合室



外来診察室



面談室



地域医療連携室



薬局



デイケア サンアリス

